

令和4年度 社会福祉法人慈照会事業計画

通常規模型通所介護事業
認知症対応型通所介護事業
短期入所生活介護事業
介護老人福祉施設事業
訪問介護事業
居宅介護支援事業
ケアハウス事業

令和4年度社会福祉法人慈照会事業計画

1. 基本方針

わが国経済は、オミクロン株の第6波の大きな影響がある中、資源高、ロシアのウクライナ侵攻、米利上げによる円安の加速等、物価上昇が企業収益や家計の実質所得を圧迫している。

感染力の強いオミクロン株では、高齢者施設のクラスターが多発し、陽性者の施設療養を強いられ、死亡者全体に占める施設療養者の高い割合が大きな問題となっている。感染症類型の見直し等大きな政策転換がなければ、アフターコロナの日常には時間を要するだろう。当法人では、引き続きクラスター対策等、発症を想定した対応について、情報を更新しながら見直す。

事業継続のための次世代の介護人材の確保では、3年に亘り費用と時間をかけリクナビを活用し新たな人材との接点づくりを進め、結果に結びついてきている。人材採用のノウハウが蓄積され、体制が充実してきており、今後は重点的な活動に移行する。新規学卒者の育成体制はモデル的に進め、今後に結び付ける。定着では、引き続き、働き方改革の推進、介護ロボット等のテクノロジーの積極的な導入により、職場環境の改善を計画的に進める。

委託給食業者をシダックスフードサービスに変更し、食事提供体制を一新する。介護サービスの食事への評価は、事業所選択に影響する大事な要素である。また、介護報酬改定の対応として、感染症/災害に係る業務継続計画(BCP)、科学的介護(life)推進体制及びより多くの加算体制の整備は不可欠であり、計画的に進めたい。

今年度は、物価上昇への対応も事業継続の大きな課題となる。コスト意識の醸成とコスト削減について積極的に進め、介護報酬に関する細やかなマネジメントにより着実に収入を確保したい。

公益的な取り組みを継続し、地域の福祉ニーズを把握し、双方向の支え合いを進める。地域共生社会の実現に向けて、地域社会の信頼と期待に応え、中長期的な視点に立った事業を展開する。

※重点目標

(1)次世代人材の確保・定着と働きやすい職場づくり

リクナビによる学生/次世代職員の採用、介護機器/ICT/介護ロボットの積極活用、時間管理の徹底と時間外ゼロ、

(2)職員教育体制の充実とキャリアアップの推進

新卒を育成する仕組みづくり、キャリアパスに応じた研修体系の整備、介護機器/ICT/介護ロボットの積極的な学び、認知症研修会への積極参加、資格取得促進、能力/実績による明確な人事評価

(3)地域交流と貢献

羊の飼育と交流、地域サロン支援、三方よし主催の初任者研修への協力、外国人介護職員養成研修への協力、応援事業東近江事務局/各種団体の役員活動、高齢/障害/保育とのネットワークへの参画

2. 事業別重点目標

【通常規模型通所介護事業】(定員:30名)

70,000,000 を収入目標とする

重点目標: 職員の知識向上、環境づくりにより、質の高いサービスを提供する

新人教育を確立し、働きやすい職場づくりを目指す。事故苦情の再発防止の取組みとヒヤリハットを継続的に実施し、事故苦情を未然に防ぐ。

【認知症対応型通所介護】(定員:12名)

7,400,000 円を収入目標とする

重点目標: 認知症ケアの向上により利用者数増に結び付ける

職員の認知症ケアの知識を深める。ヒヤリハットの継続的な実施により、事故苦情を未然に防ぐ。

【短期入所生活介護事業】(定員:16名)

80,000,000 円を収入目標とする

重点目標: 人材の育成・定着を目的とした“働き続けたい”と思える職場づくりを目指す

介護ロボット・ICT による介護負担の軽減・職場環境の整備、教育制度、研修の充実、職場内のコミュニケーションの円滑化を進める。

【介護老人福祉施設事業】(定員:54名)

210,000,000 円を収入目標とする

重点目標: 看取り介護体制の整備と実施

専門職として知識の蓄積共有及び多職種間の連携を強化し、ケアの向上を図り、看取りニーズに応えていく。

【訪問介護事業】

30,000,000 円を収入目標とする

重点目標: ご利用者の人生の困難な時期に関わる意識を持ったサービスの提供の実施

常にきめ細かく対応し、その人らしい普通の生活を安心安全に過ごしてもらう。ご家族の介護力を理解し、ご本人の自立支援をしたい。在宅生活に幸せを感じてもらえるよう支援する。

【居宅介護支援事業】

7,000,000 円を収入目標とする

重点目標: ケアマネジメントプロセスの基本に立ち戻り、手順通りの計画作成に努める

ケアマネジメントプロセスに則った業務を進めていき、マニュアルの確立、また後進の確保をしていく準備を進める。

【ケアハウス事業】(定員:15名)

満床を維持し待機者を確保する

重点目標: 継続的な満床確保

広範囲に営業活動し、早期に満床とする。入居者の ADL 維持の活動とともに、ADL低下により生活が難しくなってきた方への支援方法を見直す。入居者個々のニーズを把握し実践する。

3. 年間行事予定等

上半期		下半期	
4月	入社式	10月	入居者健康診断 職員健康診断・ストレスチェック 第2回総合避難訓練
5月	第1回総合避難訓練	11月	第2回理事会(上半期事業報告、補正 予算等) 第2回夜間想定避難訓練
6月	第1回理事会(事業報告・決算) 第1回評議員会(事業報告・決算)	12月	法人忘年会
7月	第1回夜間想定避難訓練	1月	年賀式 職員個別消防訓練②
8月	カルナ納涼夏祭り	2月	
9月	カルナハウス敬老会 職員個別消防訓練①	3月	夜勤者健康診断 第3回理事会(事業計画・予算)

※施設内会議

経営会議(月1回) スタッフ会議(週1回) 給食会議(月1回)

デイ会議(適時) ショート会議(適時) 特養会議(適時) ヘルパー会議(適時) ケアハウス会議(適時)

※委員会活動等

研修教育体制プロジェクトチーム 環境整備委員会